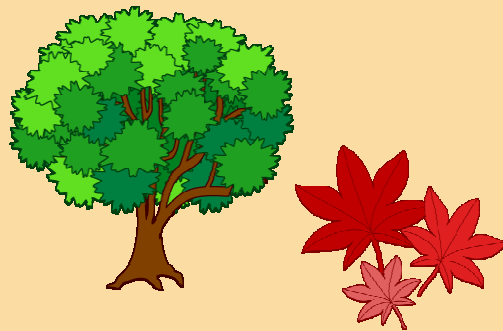


## 須賀神社と祭り



須佐之男命を祭る額田地区最大の神社で1513年に再建されました。毎年4月の第2日曜日には、町内を山車が巡行する「**須賀神社大祭**」が開催されます。神明宮まで移動して、もう1度須賀神社に戻ります。江戸時代後期から150年以上にわたって受け継がれてきました。1982年1月8日、神社に格納されている「山車」と「祭りばやし」が岡崎市の無形民俗文化財に指定されました。



## 須賀神社と山車



室町時代後期には、社殿が整えられたとみられます。山車の高さは5～6mで、重さは3～4tです。山車は4つあって、「入船山車(新居野組)」、「竜神山車(原組)」、「恵比寿山車(仲組)」、「鳳凰山車(庄野組)」です。河瀬、宮北市組は、花車(チャラボコ)で参加しています。かつては「祇園祭」として6月に行われていました。祭礼は、須賀神社の祭神が神明社の祭神を訪問することが目的です。

